

国家公務員採用

総合職試験（院卒者試験・大卒程度試験）受験案内

政策の企画及び立案又は調査及び研究に関する事務をその職務とする係員の採用試験

1 試験の日程

受 付 期 間			申込みは、インターネットにより行ってください。 2月3日（月）9:00～ 2月25日（火）[受信有効] ※ インターネット環境（原則パソコン）及びプリンターが必要になります。「7 受付から第1次試験日までの注意事項」（7ページ参照）をよく読んでください。
第 1 次 試 験 日			3月16日（日） 9:10（受付開始） 9:40（試験開始）～17:00（試験終了）
第1次試験合格者発表日			3月31日（月）9:00
第2次試験日	筆 記 試 験		4月13日（日）
			院卒者試験（法務区分を除く） 9:00（受付開始）、9:30（試験開始）～13:30（試験終了）
			大卒程度試験 9:00（受付開始）、9:30（試験開始）～17:00（試験終了）
	院卒者試験	政策課題討議試験 人物試験	5月7日（水）～ 5月16日（金） 第2次試験通知書で指定する日時（日時の変更は、原則として認められません。） なお、土・日曜日は実施しない予定です。
	大卒程度試験	人物試験	4月21日（月）～ 5月16日（金） 第2次試験通知書で指定する日時（日時の変更は、原則として認められません。） なお、土・日曜日及び祝日等の休日は実施しない予定です。
最 終 合 格 者 発 表 日			5月30日（金） 16:00

2 受験資格

●院卒者試験（法務区分を除く）：1995（平成 7）年 4 月 2 日以降生まれの者で次に掲げるもの

- （1）大学院修士課程又は専門職大学院の課程を修了した者及び 2026（令和 8）年 3 月までに大学院修士課程又は専門職大学院の課程を修了する見込みの者
- （2）人事院が（1）に掲げる者と同等の資格があると認める者

●院卒者試験（法務区分）：1995（平成 7）年 4 月 2 日以降生まれの者で次に掲げるもの

- （1）法科大学院の課程を修了した者であって司法試験に合格したもの
- （2）2026（令和 8）年 3 月までに法科大学院の課程を修了する見込みの者であって司法試験に合格したもの
- （3）司法試験予備試験に合格した者であって司法試験に合格したもの

●大卒程度試験：

- （1）1995（平成 7）年 4 月 2 日～2004（平成 16）年 4 月 1 日生まれの者
- （2）2004（平成 16）年 4 月 2 日以降生まれの者で次に掲げるもの
 - ア 大学（短期大学を除く。以下同じ。）を卒業した者及び 2026（令和 8）年 3 月までに大学を卒業する見込みの者
 - イ 人事院がアに掲げる者と同等の資格があると認める者

* 全ての試験において、次のいずれかに該当する者は受験できません。

- （1）日本の国籍を有しない者
 - ※ 日本国籍を有する者であっても外国の国籍を有する者は、外務公務員になることができません。
- （2）国家公務員法第 38 条の規定により国家公務員となることができない者
 - 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又はその刑の執行猶予の期間中の者その他その執行を受けることがなくなるまでの者
 - 一般職の国家公務員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から 2 年を経過しない者
 - 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者
- （3）平成 11 年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている者（心神耗弱を原因とするもの以外）

《 大学院を修了した方又は修了する見込みの方へ 》

総合職試験（院卒者試験）は、大学院修士課程を修了した方等の能力・適性を判定するのにふさわしいものとして設けている試験ですので、院卒者試験の受験資格がある方は院卒者試験を受験することを推奨します。

なお、院卒者試験に合格した後に大学院修士課程等を修了できなかった場合には、採用されないことがあります。

3 試験の区分

【院卒者試験】

行政、人間科学、デジタル、工学、数理科学・物理・地球科学、化学・生物・薬学、農業科学・水産、農業農村工学、森林・自然環境、法務

【大卒程度試験】

政治・国際・人文、法律、経済、人間科学、デジタル、工学、数理科学・物理・地球科学、化学・生物・薬学、農業科学・水産、農業農村工学、森林・自然環境

※ 総合職試験大卒程度試験（教養区分）について

教養区分については、受験案内を 2025（令和 7）年 7 月 8 日（火）に国家公務員試験採用情報 N A V I に掲載する予定です。

4 採用予定数

院卒者試験・大卒程度試験の採用予定数については、別途、2 月上旬に人事院ホームページ（国家公務員試験採用

5 試験地

【院卒者試験】（法務区分を除く）

第1次試験地	第2次試験地	
	筆記試験	政策課題討議 人物試験
札幌市	札幌市	さいたま市 東京都
盛岡市 仙台市	仙台市	
千葉市 東京都 新潟市 長野市	東京都	
静岡市 名古屋市 金沢市	名古屋市	
京都市 大阪市 神戸市	大阪市	大阪市
松江市 岡山市 広島市	広島市	
高松市 松山市	高松市	
福岡市 北九州市 熊本市 鹿児島市	福岡市	
那覇市	那覇市	

【大卒程度試験】

第1次試験地	第2次試験地
札幌市	札幌市
盛岡市 仙台市	仙台市
千葉市 東京都 新潟市 長野市	さいたま市 東京都
静岡市 名古屋市 金沢市	名古屋市
京都市 大阪市 神戸市	大阪市
松江市 岡山市 広島市	広島市
高松市 松山市	高松市
福岡市 北九州市 熊本市 鹿児島市	福岡市
那覇市	那覇市

【院卒者試験（法務区分）】

第1次試験地	第2次試験地
東京都	さいたま市 東京都

- (注) 1 第1次試験地は、受験に便利な1都市を選んでください。第2次試験地は、第1次試験地欄に対応する試験地になります（第2次試験地が2か所ある場合は、いずれかを指定します。）。
- 2 試験場は、原則として上記都市内に設けますが、申込者数等の状況に応じて、上記都市周辺に設ける場合もあります。
- 3 受験申込完了後における「第1次試験地」の変更は認められません（7ページ参照）。

◆第1次試験日の暖房について◆

第1次試験地における暖房については那覇市を除き、使用する予定です。

暖房温度は20度を目安としていますが、着席位置によっては室温に差が生じる場合もありますので、暖房を使用する予定の試験地で受験される方は、室温の高低に対応できるよう服装にはご注意ください。

なお、暖房を使用する予定の試験地であっても、当日の気温、試験場の状況等によっては、暖房が入らないこともあります。

6 試験種目・試験の方法

【院卒者試験】（法務区分を除く）

試験	試験種目	解答題数 解答時間	配点 比率	内 容
第1次 試 験	基礎能力試験 (多肢選択式)	30 題 2 時間 20 分	$\frac{2}{15}$	公務員として必要な基礎的な能力（知能及び知識）についての筆記試験 ● 知能分野 24 題 文章理解 ^⑩ 判断・数的推理（資料解釈を含む。） ^⑭ ● 知識分野 6 題 自然・人文・社会に関する時事、情報 ^⑥
	専門試験 (多肢選択式)	40 題 3 時間 30 分	$\frac{3}{15}$	各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験 (出題分野及び出題数は別表のとおり)
第2次 試 験	専門試験 (記述式)	2 題 3 時間	$\frac{5}{15}$	
	政策課題討議 試験	おおむね 1 時間 30 分	$\frac{2}{15}$	課題に対するグループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション力などについての試験
	人物試験		$\frac{3}{15}$	人柄、対人的能力などについての個別面接
英語試験				外部英語試験（TOEFL (iBT)、TOEIC Listening & Reading Test（公開テストに限る。）、IELTS、実用英語技能検定）を活用し、スコア等に応じて総得点に 15 点又は 25 点を加算 ※別紙参照

- (注) 1 第1次試験は、基礎能力試験、専門試験の順に実施します。
2 ○内の数字は出題予定数です。
3 第2次試験（4月13日（日）の筆記試験）の際、人物試験の参考とするため、性格検査を行います。
4 工学区分の専門試験（記述式）は選択科目によって解答題数が1題又は2題となります。
5 合格者の決定方法の詳細については、国家公務員試験採用情報NAV Iを御覧ください。

【院卒者試験（法務区分）】

試験	試験種目	解答題数 解答時間	配点 比率	内容
第 1 次 試 験	基礎能力試験 (多肢選択式)	30 題 2 時間 20 分	2 — 7	公務員として必要な基礎的な能力（知能及び知識）についての筆記試験 ● 知能分野 24 題 文章理解 ^⑩ 判断・数的推理（資料解釈を含む。） ^⑭ ● 知識分野 6 題 自然・人文・社会に関する時事、情報 ^⑥
第 2 次 試 験	政策課題討議 試験	おおむね 1 時間 30 分	2 — 7	課題に対するグループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション力などについての試験
	人物試験		3 — 7	人柄、对人的能力などについての個別面接
英語試験				外部英語試験（TOEFL (iBT)、TOEIC Listening & Reading Test（公開テストに限る。）、IELTS、実用英語技能検定）を活用し、スコア等に応じて総得点に 15 点又は 25 点を加算 ※別紙参照

（注） 1 ○内の数字は出題予定数です。

2 第 2 次試験（政策課題討議試験・人物試験）の際、人物試験の参考とするため、性格検査を行います。

3 合格者の決定方法の詳細については、国家公務員試験採用情報 N A V I を御覧ください。

【大卒程度試験】

試験	試験種目	解答題数 解答時間	配点 比率	内 容
第 1 次 試 験	基礎能力試験 (多肢選択式)	30 題 2 時間 20 分	$\frac{2}{15}$	公務員として必要な基礎的な能力（知能及び知識）についての筆記試験 ● 知能分野 24 題 文章理解⑩ 判断・数的推理（資料解釈を含む。）⑭ ● 知識分野 6 題 自然・人文・社会に関する時事、情報⑥
	専門試験 (多肢選択式)	40 題 3 時間 30 分	$\frac{3}{15}$	各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験 (出題分野及び出題数は別表のとおり)
第 2 次 試 験	専門試験 (記 述 式)	2 題 3 時間	$\frac{5}{15}$	
	政策論文試験	1 題 2 時間	$\frac{2}{15}$	政策の企画立案に必要な能力その他総合的な判断力及び思考力についての筆記試験
	人物試験		$\frac{3}{15}$	人柄、対人的能力などについての個別面接
英語試験				外部英語試験（TOEFL (iBT)、TOEIC Listening & Reading Test（公開テストに限る。）、IELTS、実用英語技能検定）を活用し、スコア等に応じて総得点に 15 点又は 25 点を加算 ※別紙参照

- (注) 1 第 1 次試験は、基礎能力試験、専門試験の順に実施します。
- 2 ○内の数字は出題予定数です。
- 3 第 2 次試験（4 月 13 日（日）の筆記試験）の際、人物試験の参考とするため、性格検査を行います。
- 4 工学区分の専門試験（記述式）は選択科目によって解答題数が 1 題又は 2 題となります。
- 5 合格者の決定方法の詳細については、国家公務員試験採用情報 N A V I を御覧ください。

7 受付から第1次試験日までの注意事項

インターネット申込みの流れ（13 ページ）と併せて御確認ください。

（1）受付期間（インターネット申込み）

2月3日（月）9：00～2月25日（火）[受信有効]

2月25日（火）までに申込データを受信完了したものに限り受け付けます。余裕を持って申込手を完了してください。

お使いのパソコンで申込手が可能かをチェックできます。インターネット申込専用アドレスへアクセスして、早めを確認してください。

（2）申込方法

インターネット申込専用アドレス〔 <https://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html> 〕

インターネット申込専用アドレスへアクセスして、説明に従って入力してください。

申込手続は、「事前登録」と「申込み」の2段階になっています（2025年度に行われる他の国家公務員採用試験において既に事前登録を行っており、ユーザーIDを持っている場合、事前登録は不要です。）。

「事前登録」だけでは申込完了にはなりません。「事前登録完了通知メール」及び「申込受付完了通知メール」が送信されますので必ず保存してください。

「事前登録」の際に登録したメールアドレスは、第2次試験通知書が到着するまで変更しないでください。

なお、ユーザーID、パスワード及びパスワードを忘れた際の質問に対する回答の照会には応じられませんので、忘れないように必ず控えておいてください。ユーザーID及びパスワードは、パーソナルレコード（「国家公務員採用試験インターネット申込み」ページの下方）にログインし、申込内容の確認、受験票、合格通知書のダウンロード及び個人の試験結果（成績）の確認を行う際にも必要になります。

ユーザーID		パスワードを忘れた際の 質問に対する回答	
パスワード			

予期せぬ機器停止や通信障害などが起きた場合のトラブルについては、一切責任を負いません。

（3）申込みに関する注意事項

ア 受験することができる「試験の区分」、「第1次試験地」は一つに限ります。また、申込完了後における変更は認められません。ただし、「第1次試験地」については、災害又は転居によりやむを得ないと認められる場合に限り、試験の実施に支障がない範囲（転居の場合は、2月26日（水）12:00までに申し出た場合に限る。）で変更が認められます。

なお、院卒者試験及び大卒程度試験の第1次試験は同じ日に行いますので、両方を受験することはできません。院卒者試験と大卒程度試験の両方を申し込まないようにしてください。

イ 申込みは1回に限ります。異なるユーザーIDで同じ試験について複数の申込みをした場合、最後の申込み以外は無効とします。

ウ 「試験の区分」、「第1次試験地」以外の申込内容のうち、「氏名（フリガナ含む）」、「生年月日」、「性別」、「電話番号」、「住所」の訂正は、第1次試験の際に受け付けます。申込内容等の訂正を目的として再度申し込むことは絶対にしないでください。

エ 入力の際の誤りや漏れがある場合には、補正を行うため適宜連絡をします。申込みをした日から2月27日（木）の間（土・日曜日及び祝日は除く。）は必ず連絡が取れるようにしてください。補正できなかった場合には、受験申込みの受理ができないことがあります。

また、第1次試験地に対応する問合せ先（11 ページ参照）と連絡が取れるように、電話番号を携帯電話等に登録しておいてください。

（4）受験票の作成方法

受験票のダウンロード期間は3月5日（水）13:00～3月13日（木）17:00 です（3月13日（木）17:00 以降はダウンロードできません。）。

3月5日（水）13:00～17:00 に「受験票発行通知メール」を送信する予定です。

期間中に、パーソナルレコードにユーザーID及びパスワードを入力してログインし、受験票をダウンロードしてください。ダウンロード後、A4サイズのコピー用紙（普通紙）に印刷（カラー、白黒どちらでも可）し、受験票記載の説明に従って受験票を作成してください。

なお、受験票は、本人であることが明瞭に確認できる写真（6か月以内に撮影した、脱帽・上半身・正面向きの縦4cm 横3cm のもの）が必要です。パーソナルレコードから写真をアップロードした上で印刷する、又は受験票を印刷した上で直接写真を貼付する方法により作成し、第1次試験当日に必ず持参してください。

（5）第1次試験に関する注意事項

ア 受験票がダウンロードできない場合は、インターネット申込みQ & A（「国家公務員採用試験インターネット申込み」ページの上方）を参照してください。期間中に受験票をダウンロードできなかった場合は、パーソナルレコードにログインして、必要な情報を確認してください。

また、受験票の内容に関する照会は、第1次試験地に対応する問合せ先（11 ページ参照）に3月14日（金）17:00 までに問い合わせてください。

イ 第1次試験の試験開始時刻（9:40）に遅れた場合は、受験は認められません。受験票記載の試験場において必ず試験開始時刻までに受付（9:10 開始）を済ませ、指定された席に着席してください。

また、試験場によっては、試験場入口と受付場所が相当離れているところもありますので、時間に余裕を持って行動してください。

ウ 試験実施中にスマートフォンなどの携帯電話、タブレット端末、スマートウォッチ、スマートグラス、電子辞書等の電子機器類を操作した場合、操作しなくても身に付けていた場合、机の上や机の中に置いていた場合は、不正行為となりますので注意してください。

8 個人情報の管理について

入力された個人情報については、個人情報の保護に関する法律に従い、人事院において適正に管理します。

また、最終合格すると、氏名、連絡先など採用を行うに当たって必要と認められる情報については、個人情報の保護に十分留意した上で、各府省等国の機関及び行政執行法人に提供します。

なお、学歴等の事項は、試験結果の分析、今後の効率的な募集活動等に資するために用いるものであり、試験の結果に影響を与えるものではありません。

9 受験上の配慮について

（1）**視覚障害（読字障害）の程度**により、以下の方法による受験ができる場合があります。

ア 大卒程度試験「法律」区分については点字による試験（パソコンによる音声読み上げを補助として併用できます。ただし、使用できるパソコンに条件があります。）を行います（点字受験者用の受験案内を用意しています。）。

第1次試験地は、札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高松市、福岡市、那覇市です。

イ 全ての試験の区分で拡大文字による試験、解答時間の延長等の措置が講じられる場合があります。

ウ 上記ア又はイの措置による受験を希望する場合は、申込画面の該当項目に希望する措置の内容を入力するとともに2月26日（水）10:00 までに必ず第1次試験地に対応する問合せ先（11 ページ参照）に申し出て、そ

の指示に従い障害の程度を証明する書類を提出してください。

なお、2月26日（水）10:00以降に上記ア又はイの措置を希望されても認められませんので御注意ください。

- (2) **身体障害等**があるため、着席位置の指定、車椅子の使用等、受験の際に何らかの措置を希望する場合及び補聴器を使用したい場合は、あらかじめ申し出てください（事前の届出及び許可が必要です。）。

申込時にあらかじめその旨を第1次試験地に対応する問合せ先（11ページ参照）に必ず申し出るとともに、申込画面の該当項目に希望する措置の内容など（補聴器使用の場合は、補聴器使用の旨及びメーカー名、型番など）を入力してください。

申出の内容や程度を確認の上、対応します。場合によっては、障害の程度を証明する書類を提出していただくことがあります。

なお、内容によっては、試験の実施上、配慮できない場合もあります。

10 多肢選択式試験の正答番号の公表について

第1次試験の「基礎能力試験（多肢選択式）」及び「専門試験（多肢選択式）」の正答番号については、国家公務員試験採用情報NAV Iの「試験情報」に、3月17日（月）11:00から3月24日（月）17:00まで掲載します。

掲載直後はアクセスが集中し、つながりにくくなることがありますので、時間をおいてアクセスしてください。なお、電話による正答番号の照会に対する回答は行っておりませんが、インターネットで見ることができないなど「正答番号の公表」に関する問合せ先は、人事院人材局試験専門官室（03-3581-5311 内線2391）です。

11 合格者の発表

合格者の受験番号は、以下のインターネット合格者発表専用アドレスで確認することができます。なお、掲載直後はアクセスが集中し、つながりにくくなるおそれがあります。事前に次のアドレスをブックマーク等に登録し、直接アクセスすることを推奨します。

[<https://www.jinji-shiken.go.jp/goukaku.html>]

インターネットによる合格者発表に関する問合せ先は、人事院人材局試験課（03-3581-5311 内線2935）です。

第1次試験合格者発表・・・3月31日（月）9:00

最終合格者発表・・・5月30日（金）16:00

合格者発表に関する照会は、第1次試験地に対応する問合せ先（11ページ参照）に問い合わせてください。

「第1次試験合格通知書」及び「最終合格通知書」は、パーソナルレコードにログインし、ダウンロードしてください。「第1次試験合格通知書」は採用志望情報登録後にダウンロードできます。第2次試験（筆記試験）の日時・試験場を指定しています（法務区分を除く）ので、ダウンロードできない場合は、4月1日（火）17:00までに第1次試験地に対応する問合せ先（11ページ参照）に御連絡ください。また、「最終合格通知書」は再発行できませんので、指定の期間内に必ずダウンロードしてください。

人事院では、有料で試験の合否の連絡を請け負うことは一切行っていません。

12 個人の試験結果(成績)について

個人の試験結果（成績）については、国家公務員試験採用情報NAV Iで確認できます。掲載期間中にパーソナルレコードにログインし、試験結果をダウンロードしてください。掲載期間は、国家公務員試験採用情報NAV Iで御確認ください。

13 採用・給与・勤務時間等

(1) 採用方法及び採用時期

最終合格者は、試験の区分ごとに作成する採用候補者名簿（５年間有効）に得点順に記載されます。

各府省等では採用候補者名簿に記載された者の中から、面接などを行って採用者を決定します（最終合格者数は、辞退者数を考慮して決定されます。）。採用はおおむね 2026（令和 8）年 4 月 1 日以降になります。

官庁訪問について

各府省等に採用されるためには、官庁訪問を行い、各府省等の面接などを受けることが必要です。官庁訪問は、志望する府省等に関する知識を深めるとともに、採用に向けての自己ＰＲの重要な機会となります。

2025 年度の官庁訪問の開始時期、方法等については、詳細が決まり次第、国家公務員試験採用情報 N A V I の採用情報内「官庁訪問」等によりお知らせします（2 月下旬予定）。

なお、官庁訪問ルールに関する相談については、人事院人材局企画課（電話（03）3581-5311(内線 2312)）に御照会ください。

(2) 給与

採用当初の額は、次のとおりです。

【院卒者試験】

行政職員 (行政(一)2-11)の場合 293,760 円	研究職員 (研究 2-15)の場合 318,120 円	警察官等 (公安(一)3-15)の場合 332,040 円	少年鑑別所の技官 (公安(二)2-11)の場合 335,160 円
-------------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	---

【大卒程度試験】

行政職員 (行政(一)2-1)の場合 276,000 円	研究職員 (研究 2-5)の場合 295,440 円	警察官等 (公安(一)3-5)の場合 316,800 円	少年鑑別所の技官 (公安(二)2-1)の場合 316,800 円
------------------------------------	----------------------------------	------------------------------------	--

(注) 1 この額は、「一般職の職員の給与に関する法律」の規定によるもので、東京都特別区に勤務する場合における 2025（令和 7）年 4 月 1 日の給与の例です。地域手当の支給されない地域へ行政職員で採用された場合には、院卒者試験 244,800 円、大卒程度試験 230,000 円です。

2 上記のほか、次のような諸手当が支給されます。

扶養手当…扶養親族のある者に支給。子月額 11,500 円等

住居手当…借家（賃貸のアパート等）に住んでいる者等に、月額最高 28,000 円

通勤手当…交通機関を利用している者等に、定期券相当額（1 箇月当たり最高 150,000 円）等

単身赴任手当…採用・異動に伴ってやむを得ない事情により配偶者と別居した者等に、月額最高 100,000 円

本府省業務調整手当…本府省の業務に従事する者に、行政(一)2 級の場合、月額 8,800 円

期末手当・勤勉手当（いわゆるボーナス）…1 年間に俸給等の約 4.60 月分

3 行政執行法人に採用された者には、行政執行法人が定めた給与が支給されます。

(3) 勤務時間・休暇

ア 勤務時間は、原則として、1 日 7 時間 45 分で、土・日曜日及び祝日等の休日は休みです。

休暇には、年次休暇（年 20 日（4 月 1 日採用の場合、採用の年は 15 日）。残日数は 20 日を限度として翌年に繰越し）のほか、病気休暇、特別休暇（夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等）及び介護休暇等があります。

また、ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭生活の両立）支援制度として、育児休業制度等があります。

イ 行政執行法人に採用された者の勤務時間・休暇等は、行政執行法人ごとに定められています。

14 2024 年度国家公務員採用試験の実施結果

国家公務員試験採用情報 N A V I を参照してください。

15 総合職試験相当の試験

各府省によって行われている試験があり、2025 年度については次のものが予定されています。詳しくは各実施府省にお問い合わせください。

試験の程度	区分	試験の名称	問合せ先	電話（代表）	受付期間
総合職試験 (院卒者試験)相当	獣医学	厚生労働省獣医系技術 職員採用試験	厚生労働省大臣官房 人事課	(03)5253-1111	3月下旬 ～5月上旬
		農林水産省獣医系技術 職員採用試験	農林水産省大臣官房 秘書課	(03)3502-8111	3月下旬 ～5月上旬
総合職試験 (大卒程度試験)相当	意匠学	特許庁意匠審査職員採 用試験	特許庁総務部秘書課	(03)3581-1101	2月3日(月) ～3月3日(月)

16 問い合わせ先

問合せの内容により、以下の問合せ先に御連絡ください（9:00～17:00(土・日曜日及び祝日等の休日は除く。))。

(1) インターネット申込み、最終合格通知書のダウンロード及び英語試験に関する問合せ

人事院人材局試験課 電話 (03) 3581-5311 (内線 2935) FAX (03) 3581-2795

なお、インターネット申込用のホームページには、Q & Aがありますので、そちらも参照してください。

(2) その他試験に関する問合せ

ア 転居による試験地の変更

イ 視覚障害（読字障害）や身体の障害等による措置の申出

ウ 受験票及び第1次試験合格通知書

エ 合格者発表

第1次試験地	問合せ先	所在地	連絡先
札幌市	人事院北海道事務局	〒060-0042 札幌市中央区大通西 12 丁目	電話 (011) 241-1248 FAX (011) 281-5759
盛岡市 仙台市	人事院東北事務局	〒980-0014 仙台市青葉区本町 3-2-23	電話 (022) 221-2022 FAX (022) 267-5315
千葉市 東京都 新潟市 長野市	人事院関東事務局	〒330-9712 さいたま市中央区新都心 1-1	電話 (048) 740-2006～8 FAX (048) 601-1021
静岡市 名古屋市 金沢市	人事院中部事務局	〒460-0001 名古屋市中区三の丸 2-5-1	電話 (052) 961-6838 FAX (052) 961-0069
京都市 大阪市 神戸市	人事院近畿事務局	〒553-8513 大阪市福島区福島 1-1-60	電話 (06) 4796-2191 FAX (06) 4796-2188
松江市 岡山市 広島市	人事院中国事務局	〒730-0012 広島市中区上八丁堀 6-30	電話 (082) 228-1183 FAX (082) 211-0548
高松市 松山市	人事院四国事務局	〒760-0019 高松市サンポート 3-33	電話 (087) 880-7442 FAX (087) 880-7443
福岡市 北九州市 熊本市 鹿児島市	人事院九州事務局	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-11-1	電話 (092) 431-7733 FAX (092) 475-0565
那覇市	人事院沖縄事務所	〒900-0022 那覇市樋川 1-15-15	電話 (098) 834-8400 FAX (098) 854-0209

17 新型コロナウイルス感染症などへの対応について

人事院ホームページ「採用試験の重要情報」又は「国家公務員試験採用情報 NAVI」の各試験のお知らせ欄に掲載しますので、必ず御確認ください（情報は随時更新されます。）。

インターネット申込みの流れ

受験申込者	人事院
I パソコンの利用環境をチェックする。チェック期間：2月3日（月）9:00～	
インターネット申込専用アドレスへアクセス ★お使いのパソコンで申込手続きが可能かどうかチェックする。 ★パソコン・スマートフォンの機種や環境等により、利用できない場合があります。	
II 事前登録・申込みを行う。受付期間：2月3日（月）9:00～2月25日（火）[受信有効]	
①「事前登録」のためのデータ入力 ★「パスワード」「パスワードを忘れた際の質問・回答」を控えておいてください。 2025年度に行われる他の国家公務員試験において、既に事前登録を行っており、ユーザーIDを持っている場合は、事前登録は不要です。『③「申込み」のためのデータ入力』からお進みください。 ②「事前登録完了通知メール」受信 ★このメールは必ず保存してください。 ③「申込み」のためのデータ入力 ④「申込受付完了通知メール」受信 ★このメールは必ず保存してください。	「事前登録」受信 「事前登録完了通知メール」送信 ★「ユーザーID」を通知 ★事前登録だけでは申込完了になりません。 「申込み」受信 「申込受付完了通知メール」送信
III 受験票を作成する。ダウンロード期間：3月5日（水）13:00～3月13日（木）17:00	
① パーソナルレコードにログイン ★期間を過ぎた場合はダウンロードできません。 ② 受験票（PDFファイル）ダウンロード・印刷 ③ 受験票作成 ★A4サイズのコピー用紙（普通紙）に印刷（カラー、白黒どちらでも可）。 ★貼合せ・穴あけ・写真のアップロード又は貼付など、必ず指示どおりに作成の上、第1次試験当日に持参する。	「受験票発行通知メール」受信 「受験票発行通知メール」送信 （3月5日（水）13:00～17:00）

・別紙 英語試験について

1 対象となる試験の区分

総合職試験（院卒者試験・大卒程度試験）の全ての試験の区分

2 活用する英語試験

試験年度の4月1日から遡って5年前の日以後（2025年度試験については、2020（令和2年）年4月1日以後）に受験した下記①～④の英語試験であって、スコア等を証明する書類の原本（又はこれに相当する書類）を第2次試験（人物試験）の際に提出することができるものに限り、なお、受験方式等によっては加算の対象とならない場合がありますので、下記の記載事項をよく御確認ください。

- ① Educational Testing Service の T O E F L i B T テスト
- ② Educational Testing Service の T O E I C Listening & Reading Test（公開テストに限る。）
- ③ ブリティッシュ・カウンシル、IDP：IELTS オーストラリア及びケンブリッジ大学英語検定機構の I E L T S のアカデミック・モジュール又はジェネラル・トレーニング・モジュール
- ④ 公益財団法人日本英語検定協会の実用英語技能検定（英検）

3 必要な書類

英語試験による加算を求める場合には、スコア等を証明する書類（以下「スコア証明書」という。）として、

- ・紙のスコア証明書の原本とその写し（コピー）

- ・2023年4月以降に実施された TOEIC Listening & Reading Test の成績を証明するものとして発行された「デジタル公式認定証」を紙に印刷したもの
- ・IELTS Online 又は IELTS One Skill Retake の成績を証明するものとして発行された Test Report Form の PDF データを紙に印刷したもの

のいずれかのもの及び身分証明書等（原本。以下②、④で必要な場合）を第2次試験（人物試験）の際に持参し、必要事項を記入した英語試験申請書（総合職）を添えて、提出してください。

原本のコピー又は「デジタル公式認定証」若しくは「Test Report Form の PDF データ」を紙に印刷したものは、A4縦の用紙に、上端を合わせて等倍としてください。また、用紙の下の空白部分に、「試験名（院卒者試験又は大卒程度試験）」、「試験の区分」、「第1次試験地」及び「受験番号」を記入してください。

スコア証明書のうち、紙のスコア証明書の原本及び身分証明書等は確認後、返却し、その他は回収します。

(注) 1 スコア証明書等の詳細については、国家公務員試験採用情報 N A V I の試験情報内「総合職試験」に掲載しています。

- 2 第2次試験（人物試験）の際に必要な書類を提出できなかった場合は、英語試験による加算はできません。また、加算を求めることができる英語試験のスコア等は1つに限ります。

- 3 提出されたスコア等を、英語試験を実施する団体に確認する場合があります（国家公務員法上、虚偽又は不正の報告等を行った者は、3年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられることがあります。）。

英語試験申請書（総合職）は、第1次試験合格発表後、国家公務員試験採用情報 N A V I に掲載しますので、印刷し、必要事項を記入した上で持参してください。詳細は第1次試験実施の際にお配りする受験心得を御覧ください。

① TOEFL iBTテスト

Test Taker Score Report

- (注) 1 Educational Testing Service から直接郵送された証明書を原本として認めています。個人のアカウントページ（マイホームページ）よりダウンロードしたもの（PDF形式）については、原本として認められません。
- 2 Test Taker Score Report は、Test Date Score が加算対象となります。
- 3 TOEFL(iBT) Home Edition は加算対象となります。
- 4 TOEFL (iBT)の Test Taker Score Report の再発行可能期間は、試験日から2年間とされており、この期間内であれば、紛失した場合も再発行が可能とされています。

② TOEIC Listening & Reading Test

Official Score Certificate 又は Official Score Report（公式認定証）

- (注) 1 紙の公式認定証及びデジタル公式認定証いずれも対象となります。原本のコピー又は「デジタル公式認定証」を紙に印刷したものを提出してください。
- 2 証明書類に顔写真が記載されていない場合には、顔写真及び生年月日の記載がある身分証明書も必要です。
- 3 証明として必要な箇所は、証明書類の「切り離し可能」（Detach Here）と書かれた点線（切り取り線）より上の部分のみですので、切り取っていても差し支えありません。
- 4 TOEIC Listening & Reading Test の Official Score Certificate 又は Official Score Report の再発行可能期間は、それぞれ試験日から2年間とされており、この期間内であれば、紛失した場合も再発行が可能とされています。
- 5 団体特別受験制度（Institutional Program）（通称：IPテスト）は、加算の対象としていません。

③ IELTS のアカデミック・モジュール又はジェネラル・トレーニング・モジュール

Test Report Form

- (注) 1 IELTS の成績証明書（Test Report Form）は、一人1通のみしか発行されないこととされており、IELTS のスコアを提出する場合には、成績証明書（Test Report Form）を紛失しないよう、確実に保管していただく必要があります。
- 2 成績証明書が PDF 形式で発行される「IELTS Online」又は「IELTS One Skill Retake」のスコアについては、第2次試験（人物試験）日に、人事院において真正性を確認することができるスコア証明書を提出していただく必要があります（第2次試験（人物試験）日において真正性の確認が可能なもの（同日において筆記テストの日から2年を経過していないもの。）のみが加算対象となります。第2次試験（人物試験）日において真正性の確認ができない「IELTS Online」又は「IELTS One Skill Retake」のスコアを加算対象とすることはできませんので御注意ください。）。
- 3 IELTS Indicator は、加算の対象としていません。

④ 実用英語技能検定（英検）

合格証明書、PROOF OF EIKEN CERTIFICATION 又は Certificate 及び身分証明書等（顔写真及び生年月日の記載がある身分証明書又は英検の本人確認票）

- (注) 1 Certification Card は証明書類として取り扱いませので、御注意ください。
- 2 実用英語技能検定（英検）の合格証明書又は PROOF OF EIKEN CERTIFICATION は、再発行期限はないとされています。

4 加算点

15 点加算 : TOEFL(iBT) 65 以上 80 未満

TOEIC Listening & Reading Test 600 以上 730 未満

IELTS 5.5 以上 6.5 未満

25 点加算 : TOEFL(iBT) 80 以上

TOEIC Listening & Reading Test 730 以上

IELTS 6.5 以上

英検 1 級又は準 1 級

英語試験に関する詳細は、国家公務員試験採用情報 N A V I を御覧ください。

また、英語試験に関する問合せは、以下の問合せ先へ御連絡ください。

人事院人材局試験課 (9:00~17:00 (土・日曜日及び祝日等の休日は除く。))

電話 (03) 3581-5311 (内線 2935) FAX (03) 3581-2795

別表 専門試験出題分野及び出題数一覧表

- 内の数字は、出題予定数であり、「経済学・財政学⑥」とは、経済学及び財政学から6題出題するという意味です。
- []内は分野名又は科目名の説明であり、その中で例示してある内容の問題が必ず出題されるとは限りません。
- 「試験の区分」によっては、同時に選択できない科目がありますので、注意してください。
- 「専門試験（多肢選択式）」と「専門試験（記述式）」の選択問題は、必ずしも一致している必要はありません。

【院卒者試験】

試験の区分	専門試験（多肢選択式）	専門試験（記述式）
行 政	次の選択Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳからいずれかを選択し解答 〔選択Ⅰ 政治・国際系〕 55題出題 40題解答 必須問題 政治学⑩、国際関係⑩、憲法⑤の計25題 選択問題 行政学⑤、国際事情③、国際法⑤、行政法⑤、民法（担保物権、親族及び相続を除く。）③、経済学③、財政学③、経済政策③の30題から任意の計15題解答 〔選択Ⅱ 人文系〕 55題出題 40題解答 必須問題 政治学・国際関係・憲法⑤、思想・哲学④、歴史学④、文学・芸術③、人文地理学・文化人類学②、心理学①、教育学③、社会学③の計25題 選択問題 思想・哲学⑥、歴史学⑥、文学・芸術⑥、人文地理学・文化人類学②、心理学③、教育学③、社会学④の30題から任意の計15題解答 〔選択Ⅲ 法律系〕 49題出題 40題解答 必須問題 憲法⑦、行政法⑩、民法⑫の計31題 選択問題 商法③、刑法③、労働法③、国際法③、経済学・財政学⑥の18題から任意の計9題解答 〔選択Ⅳ 経済系〕 46題出題 40題解答 必須問題 経済理論⑩、財政学・経済政策⑤、経済事情⑤、統計学・計量経済学⑤の計31題 選択問題 経済史・経済事情③、国際経済学③、経営学③、憲法③、民法（担保物権、親族及び相続を除く。）③の15題から任意の計9題解答	選択問題 2題 次の17科目22題から2題選択 政治学①、行政学①、国際関係②、思想・哲学②、歴史学②、文学・芸術②、公共政策②、憲法①、行政法①、民法①、商法①、刑法①、民事訴訟法①、国際法①、経済理論①、財政学①、経済政策① （注）同じ科目から2題選択可。
人間科学	105題出題 40題解答 Ⅰ部 5題 人間科学に関する基礎〔人間科学における調査・分析に関する基礎、人間科学における行政的問題を含む。〕 Ⅱ部 15題 次の選択A、B（各15題）から一つを選択 選択A 心理系 人間の資質及び行動並びに人間関係の理解に関する心理学的基礎（心理学史、生理、知覚、学習等）⑩、 心理学における研究方法に関する基礎④ 選択B 教育・福祉・社会系 教育学、福祉及び社会学に関する基礎⑫、 教育学、福祉及び社会学における調査・分析に関する基礎③ Ⅲ部 20題 次の14科目（各5題）から4科目を選択し、計20題解答 認知心理学、臨床心理学、教育環境学、教育心理学、 教育経営学、教育方法学、社会福祉総論、社会福祉各論、 福祉計画論、地域福祉論、社会学（理論）、社会学（各論）、 社会心理学、現代社会論	選択問題 2題 次の6題から2題選択 心理学に関連する領域②〔人間の資質及び行動並びに人間関係の理解に関する心理学的基礎、行政的な課題・社会的事象について、心理学的な視点から論述するもの〕、 教育学、福祉及び社会学に関連する領域①、 教育学に関連する領域①、 福祉に関連する領域①、 社会学に関連する領域① （注）同じ領域から2題選択可。

試験の区分	専門試験（多肢選択式）	専門試験（記述式）
デジタル	63題出題 40題解答 必須問題 基礎数学⑩、情報基礎⑦、情報と社会③の計20題 選択必須問題 次の17題から10題以上を選択解答 計算機科学③、情報工学（ハードウェア）⑤、 情報工学（ソフトウェア）⑤、情報技術④ 選択問題 選択必須問題と選択問題の合計の解答数が20題となるよう、次の26題から選択解答 線形代数、解析、確率・統計⑧、 数学モデル、オペレーションズ・リサーチ、経営工学（経営数学・生産管理・品質管理）⑤、 制御工学②、電磁気学②、電気工学③、電子工学③、 通信工学③	選択問題 2 題 次の科目から6題出題、任意の2題選択 計算機科学①、 情報工学（ハードウェア）②、 情報工学（ソフトウェア）②、 情報技術① （注）同じ科目から2題選択可。
工 学	155題出題 40題解答 必須問題 工学に関する基礎〔数学及び物理の基礎的な知識に基づく工学的手法の応用能力を問うもの等〕の計20題 選択問題 次の27科目（各5題）から4科目、5科目又は6科目を選択し、その20～30題のうちから任意の計20題解答 1. 技術論〔技術の歴史、技術と社会との関連等〕、 2. 基礎化学、3. 工学基礎実験、4. 情報基礎、5. 電磁気学、 6. 電気工学、7. 材料力学〔機械系〕、8. 流体力学〔機械系〕、 9. 構造力学（土木）・土木材料・土木施工、 10. 土質力学・水理学、11. 環境工学（土木）・衛生工学、 12. 構造力学（建築）、13. 建築構造・建築材料・建築施工、 14. 計測工学・制御工学、15. 電子工学、16. 通信工学、 17. 機械力学、18. 熱力学・熱機関〔機械系〕、 19. 土木計画、20. 建築計画・建築法規・建築設備、 21. 建築史・都市計画、 22. 材料工学（材料科学）〔材料物理、材料化学〕、 23. 材料工学（金属材料・無機材料）、 24. 原子力工学（原子核・放射線）、 25. 原子力工学（原子炉・核燃料サイクル）、 26. 船舶海洋工学（流体）〔船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動〕、 27. 船舶海洋工学（構造）〔船体強度・振動、船舶設計・艦装〕 （注）8（流体力学〔機械系〕）と10（土質力学・水理学）の同時選択不可。 7（材料力学〔機械系〕）と9（構造力学（土木）・土木材料・土木施工）と12（構造力学（建築））の3科目のうち、2科目又は3科目の同時選択不可。	選択問題 1 題又は2 題 次の27科目から出題 解答題数 ア. 1（建築設計）又は2（都市設計）を選択する場合は、その1科目（1題）のみを選択解答 イ. ア以外の場合は、2科目から各1題、計2題を選択解答 （注）2題以上出題される科目にあっては、そのうち1題のみ選択可。 1. 建築設計①、2. 都市設計①、3. 計測工学①、4. 制御工学②、 5. 電磁気学・電気回路①、6. 電気機器①、7. 電力工学①、 8. 電子工学①、9. 通信工学①、10. 信頼性工学①、 11. 材料力学〔機械系〕①、12. 機械力学①、 13. 流体力学〔機械系〕①、14. 熱力学・熱機関〔機械系〕①、 15. 航空工学①、16. 構造力学（土木）①、17. 土質力学①、 18. 水理学①、19. 土木計画③、 20. 環境工学（土木）・衛生工学②、 21. 材料工学（材料科学）〔材料物理、材料化学〕①～②、 22. 材料工学（金属材料）①～②、23. 材料工学（無機材料）①、 24. 原子力工学（原子核・放射線）①、 25. 原子力工学（原子炉・核燃料サイクル）①～②、 26. 船舶海洋工学（流体）〔船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動〕①～②、 27. 船舶海洋工学（構造）〔船体強度・振動、船舶設計・艦装〕①～② （注1）11（材料力学〔機械系〕）と16（構造力学（土木））の同時選択不可。 13（流体力学〔機械系〕）と18（水理学）の同時選択不可。 19（土木計画）と20（環境工学（土木）・衛生工学）の同時選択不可。 （注2）1（建築設計）及び2（都市設計）は、「一般的な建築物及び都市・地区の設計を課題とし、マスタープラン（図面及び論述）の作成により、設計する能力及び企画する能力を問う問題」。 他の選択科目は、「科目内容に応じて必要な専門的知識、技術などの能力を論述、計算等を通じて問う問題」。
数理学・物理・地球科学	115題出題 40題解答 I 部 5 題 基礎数学・情報数学 II 部 10 題 次の選択 A、B（各10題）から一つを選択 選択 A 数理学系 線形代数、解析、確率・統計 選択 B 物理・地球科学系 基礎物理、地球科学 III 部 25 題 次の17科目90題のうち任意の計25題解答 集合・位相、代数、幾何、解析、確率・統計、情報理論、 計算機数学、離散数学、数値計算、数学モデル、 オペレーションズ・リサーチ、 経営工学（経営数学・生産管理・品質管理）、物理数学、 古典物理学、現代物理学（物性物理学を含む。）、 地球物理学、地質学	選択問題 2 題 次の科目から15題出題、任意の2題選択 代数、幾何、解析、確率・統計⑤、 情報科学①、 数学モデル①、 経営工学（経営数学・生産管理・品質管理）①、 古典物理学、現代物理学（物性物理学を含む。）③、 地球物理学②、 地質学② （注）同じ科目から2題選択可。

試験の区分	専門試験（多肢選択式）	専門試験（記述式）
化学・生物・薬学	106題出題 40題解答 必須問題 基礎数学、基礎物理、基礎化学、基礎生物学の計10題 選択問題 次の16科目（各6題）から5科目又は6科目を選択し、その30～36題のうちから任意の計30題解答 1. 数学・物理、2. 基礎物理化学・基礎無機化学、 3. 物理化学・無機化学、4. 有機化学、 5. 工業化学・化学工学、6. 分析化学・薬化学、 7. 薬理学、8. 薬剤学・衛生化学、9. 食品学、 10. 土壤肥科学・環境科学・農薬、11. 生化学・分子生物学、 12. 応用微生物学・生物工学、13. 発生生物学・生理学、 14. 細胞生物学（形態学を含む。）・放射線生物学、 15. 遺伝学・進化学、 16. 生態学（動物行動学を含む。）・系統分類学	選択問題 2題 次の科目から19題出題、任意の2題選択 物理化学②、無機化学①、有機化学①、分析化学①、 化学工学①、薬化学①、薬理学①、薬剤学①、食品学①、 土壤肥科学・農薬①、生化学①、分子生物学・生物工学①、 応用微生物学①、発生生物学①、生理学①、 細胞生物学（形態学を含む。）①、遺伝学①、 生態学（動物行動学を含む。）① （注）同じ科目から2題選択可。
農業科学・水産	140題出題 40題解答 I部 5題 生物資源に関する基礎〔生物資源科学、食料事情、統計学〕 II部 10題 次の選択A、B（各10題）から一つを選択 選択A 農業科学系 農業科学に関する基礎〔農業・畜産業、生物学に関する基礎〕 選択B 水産系 水産学に関する基礎 III部 25題 次の23科目（各5題）から5科目を選択し、計25題解答 1. 作物学、2. 園芸学、3. 育種遺伝学、4. 植物病理学、 5. 昆虫学、6. 土壤肥科学・植物生理学、7. 経済学、 8. 農業資源経済学（基礎）、9. 農業資源経済学（応用）、 10. 農業経営学、11. 食料政策・農業政策・農業関係法律、 12. 家畜育種学、13. 家畜繁殖学、14. 家畜生理学、 15. 家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学、 16. 畜産一般〔畜産物生産・畜産物加工・畜産物流通〕、 17. 水産経済学・水産経営学、18. 漁政、 19. 漁業学・水産資源学、20. 水産海洋学・水産環境保全、 21. 水産生物学・増養殖学、22. 水産化学・水産利用学、 23. 水産一般〔水産物生産・水産物加工・水産物流通〕	選択問題 2題 次の20科目（各1題）から2科目選択 1. 作物学、2. 園芸学、3. 育種遺伝学、4. 植物病理学、 5. 昆虫学、6. 農業資源経済学、7. 農業経営学、 8. 食料政策・農業政策、9. 家畜育種学、10. 家畜繁殖学、 11. 家畜生理学、 12. 家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学、 13. 漁業学、14. 水産資源学、15. 水産海洋学、16. 水産環境保全、 17. 水産生物学、18. 増養殖学、19. 水産化学、20. 水産利用学
農業農村工学	76題出題 40題解答 必須問題 農業農村工学に関する基礎〔農業・農村一般③、農業生産・環境一般②、数学・情報処理③、農業農村工学一般⑥、応用力学④、水理学④〕の計22題 選択問題 次の9科目（各6題）から3科目を選択し、計18題解答 1. 設計・施工、2. 農業水利学、3. 土地改良、 4. 農村計画学・公共経済学、5. 農村環境整備、 6. 機械基礎工学〔機械力学及び機械要素・設計〕、 7. 生物生産機械工学、8. 食料機械工学・生物生産施設工学、 9. 環境調節工学〔農業気象学及び生物工学を含む。〕	選択問題 2題 次の9科目（各1題）から2科目選択 1. 設計・施工、2. 農業水利学、3. 土地改良、 4. 農村計画学、5. 農村環境整備、6. 公共経済学、 7. 生物生産機械工学、 8. 食料機械工学・生物生産施設工学、 9. 環境調節工学〔農業気象学及び生物工学を含む。〕
森林・自然環境	121題出題 40題解答 必須問題 森林・自然環境に関する基礎〔森林・自然環境に関する基礎科学④、森林・自然環境の現状と基本政策⑤、森林・自然環境の機能・効用に関する基礎④〕の計13題 選択問題 次の12科目（各9題）から3科目を選択し、計27題解答 1. 森林環境科学（森林政策及び林業動向を含む。）、 2. 森林資源科学（森林立地及び森林保護を含む。）、 3. 森林生物生産科学（森林経営・育林技術・森林工学）、 4. 砂防学基礎、5. 砂防工学、6. 流域管理、 7. 造園学原論・造園材料、 8. 造園計画（自然公園）〔自然環境保全を含む。〕、 9. 造園計画（都市公園）〔都市計画を含む。〕、 10. 木材特性・木質構造〔木材需給を含む。〕、 11. 木材加工・材質改良、 12. 木材成分利用（特用林産を含む。〕	選択問題 2題 次の4科目（各3題）から1科目を選択し、任意の2題解答 1. 森林科学に関する基礎、 2. 国土保全に関する基礎、 3. 自然環境・公園緑地に関する基礎、 4. 木材等林産物に関する基礎

【大卒程度試験】

試験の区分	専門試験（多肢選択式）	専門試験（記述式）
政治・国際 ・人文	次のコースA、Bからいずれかを選択し解答 〔コースA 政治・国際系〕 55題出題 40題解答 必須問題 政治学⑩、国際関係⑩、憲法⑤の計25題 選択問題 行政学⑤、国際事情③、国際法⑤、行政法⑤、民法（担保物権、親族及び相続を除く。）③、経済学③、財政学③、経済政策③の30題から任意の計15題解答 〔コースB 人文系〕 55題出題 40題解答 必須問題 政治学・国際関係・憲法⑤、思想・哲学④、歴史学④、文学・芸術③、人文地理学・文化人類学②、心理学①、教育学③、社会学③の計25題 選択問題 思想・哲学⑥、歴史学⑥、文学・芸術⑥、人文地理学・文化人類学②、心理学③、教育学③、社会学④の30題から任意の計15題解答	次のコースA、Bからいずれかを選択し解答 〔コースA 政治・国際系〕 選択問題 2題 次の6科目8題から2題選択 政治学①、行政学①、憲法①、国際関係②、国際法①、公共政策② （注）同じ科目から2題選択可。 〔コースB 人文系〕 選択問題 2題 次の3科目6題から2題選択 思想・哲学②、歴史学②、文学・芸術② （注）同じ科目から2題選択可。
法 律	49題出題 40題解答 必須問題 憲法⑦、行政法⑫、民法⑫の計31題 選択問題 商法③、刑法③、労働法③、国際法③、経済学・財政学⑥の18題から任意の計9題解答	選択問題 2題 次の5科目6題から2題選択 憲法①、行政法①、民法①、国際法①、公共政策② （注）公共政策からは1題のみ選択可。
経 済	46題出題 40題解答 必須問題 経済理論⑩、財政学・経済政策⑤、経済事情⑤、統計学・計量経済学⑤の計31題 選択問題 経済史・経済事情③、国際経済学③、経営学③、憲法③、民法（担保物権、親族及び相続を除く。）③の15題から任意の計9題解答	必須問題 1題 経済理論① 選択問題 1題 次の3科目4題から1題選択 財政学①、経済政策①、公共政策②
人間科学	105題出題 40題解答 I部 5題 人間科学に関する基礎〔人間科学における調査・分析に関する基礎、人間科学における行政的問題を含む。〕 II部 15題 次の選択A、B（各15題）から一つを選択 選択A 心理系 人間の資質及び行動並びに人間関係の理解に関する心理学的基礎（心理学史、生理、知覚、学習等）⑩、 心理学における研究方法に関する基礎④ 選択B 教育・福祉・社会系 教育学、福祉及び社会学に関する基礎⑩、 教育学、福祉及び社会学における調査・分析に関する基礎③ III部 20題 次の14科目（各5題）から4科目を選択し、計20題解答 認知心理学、臨床心理学、教育環境学、教育心理学、 教育経営学、教育方法学、社会福祉総論、社会福祉各論、 福祉計画論、地域福祉論、社会学（理論）、社会学（各論）、 社会心理学、現代社会論	選択問題 2題 次の6題から2題選択 心理学に関連する領域②〔人間の資質及び行動並びに人間関係の理解に関する心理学的基礎、行政的な課題・社会的事象について、心理学的な視点から論述するもの〕、 教育学、福祉及び社会学に関連する領域①、 教育学に関連する領域①、 福祉に関連する領域①、 社会学に関連する領域① （注）同じ領域から2題選択可。
デジタル	63題出題 40題解答 必須問題 基礎数学⑩、情報基礎⑦、情報と社会③の計20題 選択必須問題 次の17題から10題以上を選択解答 計算機科学③、情報工学（ハードウェア）⑤、 情報工学（ソフトウェア）⑤、情報技術④ 選択問題 選択必須問題と選択問題の合計の解答数が20題となるよう、次の26題から選択解答 線形代数、解析、確率・統計⑧、 数学モデル、オペレーションズ・リサーチ、経営工学（経営数学・生産管理・品質管理）⑤、 制御工学②、電磁気学②、電気工学③、電子工学③、 通信工学③	選択問題 2題 次の科目から6題出題、任意の2題選択 計算機科学①、 情報工学（ハードウェア）②、 情報工学（ソフトウェア）②、 情報技術① （注）同じ科目から2題選択可。

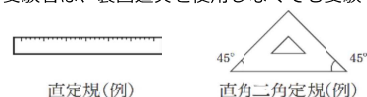
試験の区分	専門試験（多肢選択式）	専門試験（記述式）
工 学	155題出題 40題解答 必須問題 工学に関する基礎〔数学及び物理の基礎的な知識に基づく工学的手法の応用能力を問うもの等〕の計20題 選択問題 次の27科目（各5題）から4科目、5科目又は6科目を選択し、その20～30題のうちから任意の計20題解答 1. 技術論〔技術の歴史、技術と社会との関連等〕、 2. 基礎化学、3. 工学基礎実験、4. 情報基礎、5. 電磁気学、 6. 電気工学、7. 材料力学〔機械系〕、8. 流体力学〔機械系〕、 9. 構造力学（土木）・土木材料・土木施工、 10. 土質力学・水理学、11. 環境工学（土木）・衛生工学、 12. 構造力学（建築）、13. 建築構造・建築材料・建築施工、 14. 計測工学・制御工学、15. 電子工学、16. 通信工学、 17. 機械力学、18. 熱力学・熱機関〔機械系〕、 19. 土木計画、20. 建築計画・建築法規・建築設備、 21. 建築史・都市計画、 22. 材料工学（材料科学）〔材料物理、材料化学〕、 23. 材料工学（金属材料・無機材料）、 24. 原子力工学（原子核・放射線）、 25. 原子力工学（原子炉・核燃料サイクル）、 26. 船舶海洋工学（流体）〔船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動〕、 27. 船舶海洋工学（構造）〔船体強度・振動、船舶設計・艦装〕 （注）8（流体力学〔機械系〕）と10（土質力学・水理学）の同時選択不可。 7（材料力学〔機械系〕）と9（構造力学（土木）・土木材料・土木施工）と12（構造力学（建築））の3科目のうち、2科目又は3科目の同時選択不可。	選択問題 1 題又は2 題 次の27科目から出題 解答題数 ア、1（建築設計）又は2（都市設計）を選択する場合は、その1科目（1題）のみを選択解答 イ、ア以外の場合は、2科目から各1題、計2題を選択解答 （注）2題以上出題される科目にあっては、そのうち1題のみ選択可。 1. 建築設計①、2. 都市設計①、3. 計測工学①、4. 制御工学②、 5. 電磁気学・電気回路①、6. 電気機器①、7. 電力工学①、 8. 電子工学①、9. 通信工学①、10. 信頼性工学①、 11. 材料力学〔機械系〕①、12. 機械力学①、 13. 流体力学〔機械系〕①、14. 熱力学・熱機関〔機械系〕①、 15. 航空工学①、16. 構造力学（土木）①、17. 土質力学①、 18. 水理学①、19. 土木計画③、 20. 環境工学（土木）・衛生工学②、 21. 材料工学（材料科学）〔材料物理、材料化学〕①～②、 22. 材料工学（金属材料）①～②、23. 材料工学（無機材料）①、 24. 原子力工学（原子核・放射線）①、 25. 原子力工学（原子炉・核燃料サイクル）①～②、 26. 船舶海洋工学（流体）〔船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動〕①～②、 27. 船舶海洋工学（構造）〔船体強度・振動、船舶設計・艦装〕①～② （注1）11（材料力学〔機械系〕）と16（構造力学（土木））の同時選択不可。 13（流体力学〔機械系〕）と18（水理学）の同時選択不可。 19（土木計画）と20（環境工学（土木）・衛生工学）の同時選択不可。 （注2）1（建築設計）及び2（都市設計）は、「一般的な建築物及び都市・地区の設計を課題とし、マスタープラン（図面及び論述）の作成により、設計する能力及び企画する能力を問う問題」。 他の選択科目は、「科目内容に応じて必要な専門的知識、技術などの能力を論述、計算等を通じて問う問題」。
数理科学・物理・地球科学	115題出題 40題解答 I 部 5 題 基礎数学・情報数学 II 部 10 題 次の選択 A、B（各10題）から一つを選択 選択 A 数理科学系 線形代数、解析、確率・統計 選択 B 物理・地球科学系 基礎物理、地球科学 III 部 25 題 次の17科目90題のうち任意の計25題解答 集合・位相、代数、幾何、解析、確率・統計、情報理論、 計算機数学、離散数学、数値計算、数学モデル、 オペレーションズ・リサーチ、 経営工学（経営数学・生産管理・品質管理）、物理学、 古典物理学、現代物理学（物性物理学を含む。）、 地球物理学、地質学	選択問題 2 題 次の科目から15題出題、任意の2 題選択 代数、幾何、解析、確率・統計⑤、 情報科学①、 数学モデル①、 経営工学（経営数学・生産管理・品質管理）①、 古典物理学、現代物理学（物性物理学を含む。）③、 地球物理学②、 地質学② （注）同じ科目から2 題選択可。
化学・生物・薬学	106題出題 40題解答 必須問題 基礎数学、基礎物理、基礎化学、基礎生物学の計10題 選択問題 次の16科目（各6題）から5科目又は6科目を選択し、その30～36題のうちから任意の計30題解答 1. 数学・物理、2. 基礎物理化学・基礎無機化学、 3. 物理化学・無機化学、4. 有機化学、 5. 工業化学・化学工学、6. 分析化学・薬化学、 7. 薬理学、8. 薬剤学・衛生化学、9. 食品学、 10. 土壤肥料学・環境科学・農薬、11. 生化学・分子生物学、 12. 応用微生物学・生物工学、13. 発生生物学・生理学、 14. 細胞生物学（形態学を含む。）・放射線生物学、 15. 遺伝学・進化学、 16. 生態学（動物行動学を含む。）・系統分類学	選択問題 2 題 次の科目から19題出題、任意の2 題選択 物理化学②、無機化学①、有機化学①、分析化学①、 化学工学①、薬化学①、薬理学①、薬剤学①、食品学①、 土壤肥料学・農薬①、生化学①、分子生物学・生物工学①、 応用微生物学①、発生生物学①、生理学①、 細胞生物学（形態学を含む。）①、遺伝学①、 生態学（動物行動学を含む。）① （注）同じ科目から2 題選択可。

試験の区分	専門試験（多肢選択式）	専門試験（記述式）
農業科学・水産	140題出題 40題解答 I部 5題 生物資源に関する基礎〔生物資源科学、食料事情、統計学〕 II部 10題 次の選択A、B（各10題）から一つを選択 選択A 農業科学系 農業科学に関する基礎〔農業・畜産業、生物学に関する基礎〕 選択B 水産系 水産学に関する基礎 III部 25題 次の23科目（各5題）から5科目を選択し、計25題解答 1. 作物学、2. 園芸学、3. 育種遺伝学、4. 植物病理学、 5. 昆虫学、6. 土壌肥科学・植物生理学、7. 経済学、 8. 農業資源経済学（基礎）、9. 農業資源経済学（応用）、 10. 農業経営学、11. 食料政策・農業政策・農業関係法律、 12. 家畜育種学、13. 家畜繁殖学、14. 家畜生理学、 15. 家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学、 16. 畜産一般〔畜産物生産・畜産物加工・畜産物流通〕、 17. 水産経済学・水産経営学、18. 漁政、 19. 漁業学・水産資源学、20. 水産海洋学・水産環境保全、 21. 水産生物学・増養殖学、22. 水産化学・水産利用学、 23. 水産一般〔水産物生産・水産物加工・水産物流通〕	選択問題 2題 次の20科目（各1題）から2科目選択 1. 作物学、2. 園芸学、3. 育種遺伝学、4. 植物病理学、 5. 昆虫学、6. 農業資源経済学、7. 農業経営学、 8. 食料政策・農業政策、9. 家畜育種学、10. 家畜繁殖学、 11. 家畜生理学、 12. 家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学、 13. 漁業学、14. 水産資源学、15. 水産海洋学、16. 水産環境保全、 17. 水産生物学、18. 増養殖学、19. 水産化学、20. 水産利用学
農業農村工学	76題出題 40題解答 必須問題 農業農村工学に関する基礎〔農業・農村一般③、農業生産・環境一般②、数学・情報処理③、農業農村工学一般⑥、応用力学④、水理学④〕の計22題 選択問題 次の9科目（各6題）から3科目を選択し、計18題解答 1. 設計・施工、2. 農業水利学、3. 土地改良、 4. 農村計画学・公共経済学、5. 農村環境整備、 6. 機械基礎工学〔機械力学及び機械要素・設計〕、 7. 生物生産機械工学、8. 食料機械工学・生物生産施設工学、 9. 環境調節工学〔農業気象学及び生物工学を含む。〕	選択問題 2題 次の9科目（各1題）から2科目選択 1. 設計・施工、2. 農業水利学、3. 土地改良、 4. 農村計画学、5. 農村環境整備、6. 公共経済学、 7. 生物生産機械工学、 8. 食料機械工学・生物生産施設工学、 9. 環境調節工学〔農業気象学及び生物工学を含む。〕
森林・自然環境	121題出題 40題解答 必須問題 森林・自然環境に関する基礎〔森林・自然環境に関する基礎科学④、森林・自然環境の現状と基本政策⑤、森林・自然環境の機能・効用に関する基礎④〕の計13題 選択問題 次の12科目（各9題）から3科目を選択し、計27題解答 1. 森林環境科学（森林政策及び林業動向を含む。）、 2. 森林資源科学（森林立地及び森林保護を含む。）、 3. 森林生物生産科学（森林経営・育林技術・森林工学）、 4. 砂防学基礎、5. 砂防工学、6. 流域管理、 7. 造園学原論・造園材料、 8. 造園計画（自然公園）〔自然環境保全を含む。〕、 9. 造園計画（都市公園）〔都市計画を含む。〕、 10. 木材特性・木質構造〔木材需給を含む。〕、 11. 木材加工・材質改良、 12. 木材成分利用（特用林産を含む。〕	選択問題 2題 次の4科目（各3題）から1科目を選択し、任意の2題解答 1. 森林科学に関する基礎、 2. 国土保全に関する基礎、 3. 自然環境・公園緑地に関する基礎、 4. 木材等林産物に関する基礎

**（建築設計又は都市設計を選択予定の方へ）
製図道具の使用について**

「工学」区分の第2次試験の専門試験（記述式）で建築設計又は都市設計を選択する予定である受験者は、製図道具を使用しなくても受験できますが、下記の製図道具を使用することもできます。その場合は各自持参してください。

直定規 1本、直角三角定規（45°－ 45°－ 90°）1枚、赤及び青鉛筆
※直定規、直角三角定規の大きさは任意

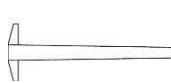


直定規(例)

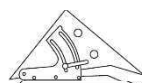
直角二角定規(例)

（注）次の製図道具は使用できません。

製図板、T定規、勾配定規、雲形定規、三角スケール、分度器、コンパス、字消し板、円・だ円・正三角形・正方形及び文字図形用の型板(テンプレート)、電動消しゴム、卓上計算機、テンプレート付定規、その他使用できる製図道具以外のもの



T定規(例)



勾配定規(例)



テンプレート(例)



テンプレート付定規(例)